

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

虫メガネ～不思議～／社会福祉法人長尾会 第2長尾保育園

園で、子どもたちが虫メガネを使う姿はありますか？
飼育物の近くに提示したり、個人用として自由に持ち出せるようにしたり、共有の場に置いたりなどと、虫メガネの設定を工夫している園があります。虫メガネを使う中で、不思議なことを発見し、興味を深めていく子どもたちの姿をご紹介します。子どもたちが、好奇心や興味をもって、虫メガネを使う中で育まれる「自然に親しみ、不思議さや美しさに感動する」「ものと意欲的に関わる」「ものを大切に作る心」は、「科学する心」に繋がります。と同時に、虫メガネは幼児が遊びの中で取り扱う時には、留意点を押さえておくことが必要な教材です。※



〇 めっちゃいいものみつけた！／5歳児

✦ きっかけ

不思議に思ったことや調べたいことを自分で見付けようとAちゃんたちが、虫メガネをもって園庭に行く。虫を観察しようとした時、Aちゃんが、不思議なことを見付ける。

✦ 石の上で

ブロック石の上で、虫メガネを通した光を見つけたAちゃんとBちゃん

Aちゃん：「見て！めっちゃいいもの見つけた！」

Bちゃん：「みんなに教えてあげよう」

※保育者の思い

光には太陽が関係していることに気付くかな？

影の所や日が当たっている所の違いにも、調べる中で気付くかな？



✦ 虫メガネを動かしてみたら…

虫メガネをブロック石に近付けたり、上に上げたりしながら、

Cちゃん：「近付けたり、離したりしてみ？何か大きくなったり、小さくなったり面白いで！」

Dちゃん：「透明の色やな！！」

Cちゃん：「くるくる回したら、どんな形に見える？」

Dちゃん：「さっきより、本物のダイヤモンドみたいになった！」

Cちゃん：「ほんまや！ダイヤモンドみたい」



✦ 紙の上で試してみると…

紙をもってきて、試すことになる。白い画用紙に映してみると…。

Eちゃん：「何か、丸いっぱいになってる！」

Fちゃん：「いろいろな色で試してみたい！（他の）画用紙で映してみよう！」
Gちゃん：「次は、青い画用紙！」
Fちゃん：「綺麗な丸ができた！」
Gちゃん：「青の画用紙なのに、光は青くないねんな」
Fちゃん：「虫メガネ、横にしたら面白い形になるで」



✦ みんなで共有

調べてみて分かったことや気付いたことを、みんなで伝え合った。

Aちゃん：「近付くと、光が小さくなり、離すと大きくなった」
Bちゃん：「虫メガネの角度を変えると、影の形が変わった」
Cちゃん：「色画用紙に写して見ると、色が出て綺麗」
Dちゃん：「後ろに人がたったら、光が消える」

※保育者の思い

気付いたことや調べたことを、皆に伝えたり、発表したりすることにより、自分の不思議に思ったことを明確にできるとともに、友達や保育者に共感してもらうことの喜びを感じ、自信にも繋げていけるようにしていきたい。



○ ※虫メガネを扱う時に

子ども自身が、虫メガネを扱う中で、虫メガネの良さや面白さを知っていくとともに、安全な使い方に気付いていくことが大切です。

虫メガネを扱う時にどのようなことに気を付けていますか？

太陽を絶対に見ないことを約束する。

子ども用虫メガネには、壊れやすい物もあり、思わぬ怪我をすることがあることに配慮し、置く場所を決めるなど管理や確認ができるようにする。

無断転載を禁ず。引用する場合は下記を必ず明記願います。

「(C)公益財団法人 ソニー教育財団

ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」